子どもの生きる力を育てたい
学童保育の民間委託は撤回を

楽しさもしんどさも分かちあいながら分会を引っぱる元気な執行部です

守口市職労　学童保育指導員分会

副分会長　渡司　考博さん（左）
書記次長　矢野　寛さん（右）

守口市の学童保育は現在市が直接運営し、直接雇用の非常勤職員が保育しています。しかし、市当局は「開設時間の延長」を口実に、2019年4月1日からの民間委託を公表しました。「民間委託で保育内容を充実させる」と言いますが、その根拠は示されず保護者からは怒りや不安の声が。「安心・安全の放課後は市の責任で」と、民間委託撤回に奮闘する学童保育指導員分会の2人にききました。

民間委託されたら保育水準の低下が

民間企業は「もうけ」を生みださねばなりませんから、指導員の賃金や事業内容の削減がすすめられると予測されます。現在は教員や保育士などの資格のある人を指導員に採用し、専門性を重視していますが、賃金・労働条件や働きがいが低下すれば、今以上に人員が確保できなくなるでしょうね。

また、民間委託は契約期間がきまっているので、より不安定な短期間雇用の指導員が増えるでしょう。それは系統的に子どもにかかわれなくなり、保育水準の低下につながります。

さらに、企業委託された他市では、企業イメージを守るためや他の事業に影響しないよう、できる限りリスクを避ける運営となり、手作りおやつや遠足など楽しい行事がなくなったりしています。

考える力 生きる力を育む仕事だから

学童保育は子どもを管理するのではなく、自由度の高い時間のなかで、自分でやりたいことを考える力を育て、生活背景をみながら一人ひとりにあった保育内容で対応するようにしています。

「相手の意見を尊重し、相手のことを考えられる人、もっといえば、日本の民主主義、日本の社会を支える人を育てているつもりです」（渡司さん）。「人の気持ちを考えられる人。そして、困った時にどうしたらいいか柔軟に考えられる人、生きる力を育てたいです」（矢野さん）。

保護者や地域の人たちとともに民間委託撤回を

保護者からは「民間委託は困る、今の保育水準を維持してほしい」といわれます。指導員の先輩たちも心配して、応援してくれています。10月29日の民間委託反対集会は200人余りの参加で成功しました。現在、署名や宣伝行動などをすすめているところです。ご協力をおねがいします。

9条改憲ゆるさない

全国で「憲法こわすな」の声、声、声

「3000万署名」で国民の声をさらに広げよう

憲法公布から71年。全国で「安倍９条改憲NO！全国市民アクション」と総がかり行動実行委員会の集会やデモが行われました。

大阪では「９条改憲許さない！11.3大阪総がかり集会」（実行委員会主催）が行われ、大阪市の中之島公園に約２万人（主催者発表）が集まり、参加者が「憲法こわすな」「戦争アカン」の声と共にプラカードをあげてアピールしました。「戦争させない1000人委員会・大阪」の米田彰男共同代表は「９条改憲反対統一署名の3000万の目標を達成させるため大きく運動を組織して広げましょう」とよびかけました。大阪自治労連の仲間も200人以上が参加し、集会後のパレードも元気に声をあげて歩きました。

11・3大阪総がかり集会。2万人が声をあげる

11・3国会包囲大行動には全国から4万人が集まりました。府職労からも13人が参加し、自作のプラカードや3000万署名の横断幕を手に、アピールしました。11・3保育大集会の参加者も集会後に合流しました。

おおさか自治体の仲間
発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2017年11月15日　No.338
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館４階　☎06-6354-7201　FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp
発行人／荒田　功　　編集人／仁木　将
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。